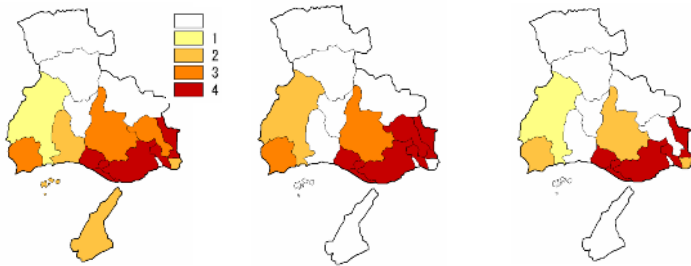


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

#### 咽頭結膜熱

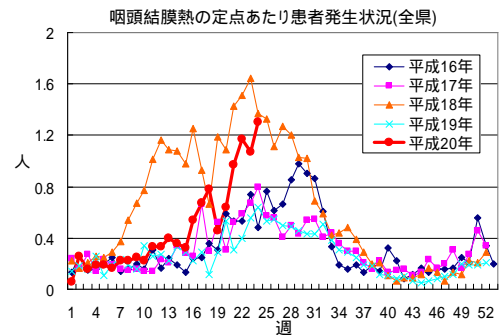
報告患者数は今週増加しました。現在、流行期を迎えています。  
大きな流行をみせた一昨年並に多い患者数となっています。  
依然として阪神地域から東播磨地域にかけて患者数が多い状況です。



22 週 (5/26 ~ 6/1)

23 週 (6/2 ~ 6/8)

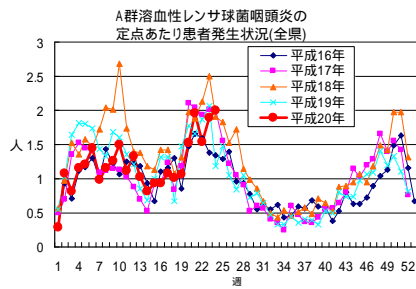
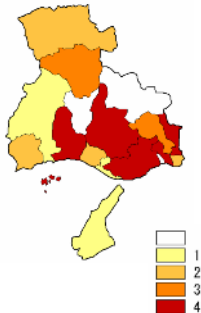
24 週 (6/9 ~ 6/15)



### その他の感染症の概況

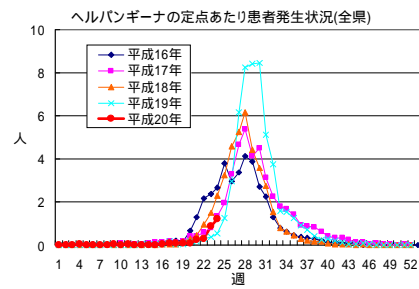
#### A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告患者数は今週も増加しました。春季から夏季にかけて流行する感染症で、現在流行期を迎えています。



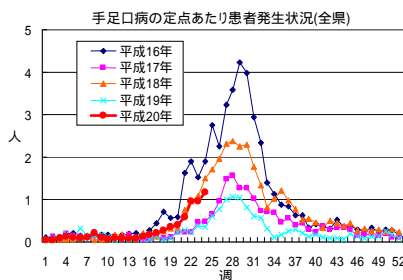
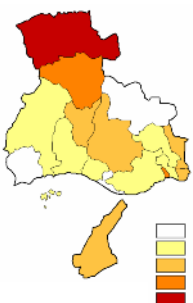
#### ヘルパンギーナ

報告患者数が増加を続けています。例年、7 月の下旬にピークを迎える代表的な夏型の感染症です。



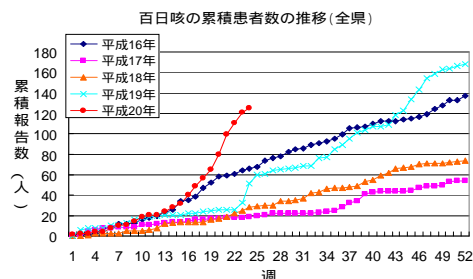
#### 手足口病

報告患者数は今週も増加しました。ヘルパンギーナと同様、代表的な夏型の感染症であり、7 月をピークに 8 月頃まで多い時期が続きます。豊岡保健所管内で多くなっています。



#### 百日咳

今週報告患者数は 4 人(先週 10 人)と減少しましたが、累積報告数は過去 5 年間の同時期と比較して最も多い状況です。



## 定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	6.87	7.68	- 0.81	6位	手足口病	1.16	0.96	+ 0.20
2位	水痘	2.02	1.57	+ 0.45	7位	流行性角結膜炎	0.74	0.97	- 0.23
3位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.00	1.90	+ 0.10	8位	突発性発しん	0.61	0.50	+ 0.11
4位	咽頭結膜熱	1.30	1.07	+ 0.23	9位	流行性耳下腺炎	0.41	0.51	- 0.10
5位	ヘルパンギーナ	1.19	0.86	+ 0.33	10位	伝染性紅斑	0.12	0.07	+ 0.05

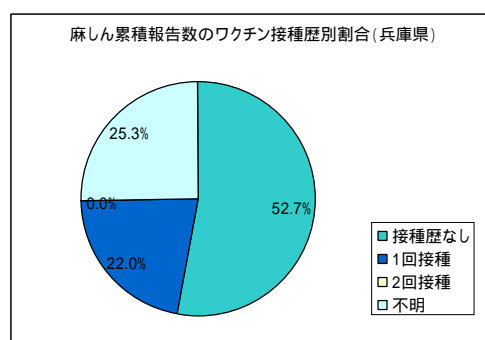
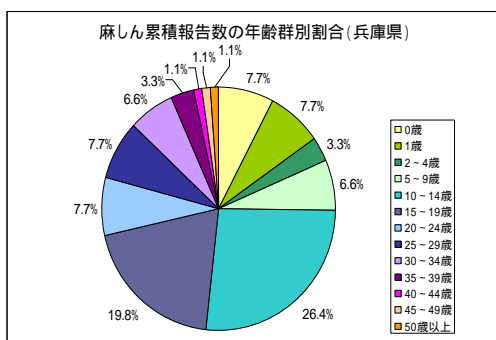
## 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	<b>結核 27名</b> （神戸市10名、尼崎市3名、姫路市3名、西宮市2名、伊丹保健所管内2名、宝塚保健所管内2名、加古川保健所管内3名、龍野保健所管内2名）
3類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 3名</b> （神戸市；O157 VT1+VT2+ 2名、O26 VT1+ 1名）
4類感染症	<b>レジオネラ症 2名</b> （尼崎市；肺炎型、龍野保健所管内；肺炎型）
5類感染症	<b>ウイルス性肝炎 1名</b> （社保健所管内；B型） <b>後天性免疫不全症候群 1名</b> （無症候性キャリア） <b>梅毒 1名</b> （尼崎市；無症候） <b>風しん 1名</b> （神戸市；9歳/臨床診断/ワクチン接種歴有（1歳時、風しん単抗原）） <b>麻しん 5名</b> （神戸市1名；28歳/臨床診断/ワクチン接種歴有（1歳時、麻しん単抗原）、社保健所管内4名；15歳/修飾麻しん/ワクチン接種歴有、15歳/修飾麻しん/ワクチン接種歴有、27歳/臨床診断/ワクチン接種歴無、15歳/修飾麻しん/ワクチン接種歴有（2歳時））
追加報告	<b>結核 5名</b> （姫路1名；第23週、明石保健所管内1名；第23週、加古川保健所管内1名；第23週、社保健所管内2名；第22週、第23週） <b>レジオネラ症 1名</b> （神戸市；第22週/肺炎型） <b>麻しん 2名</b> （神戸市1名；第23週/20歳/臨床診断/ワクチン接種歴有（1歳時）、社保健所管内1名；第23週/1歳/検査診断/ワクチン接種歴無）

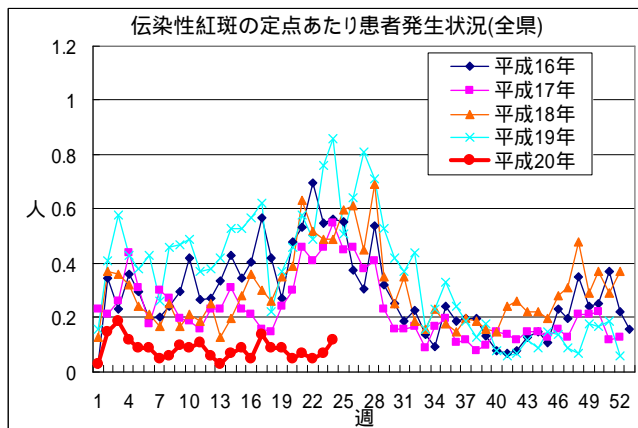
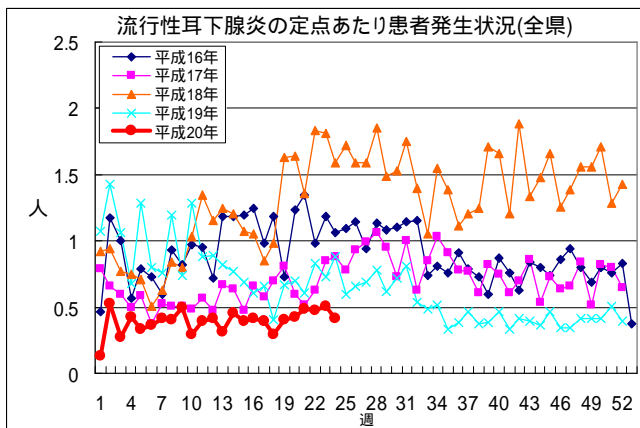
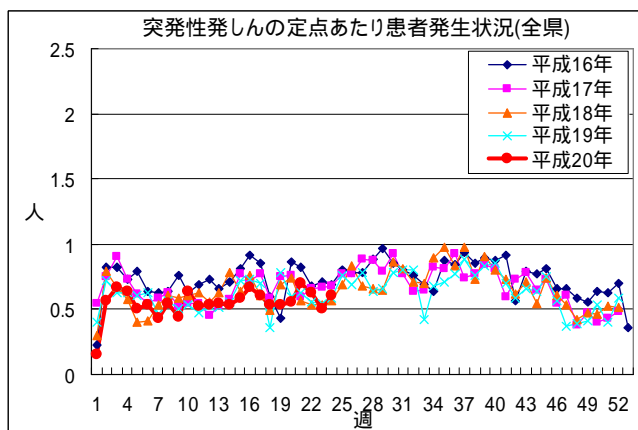
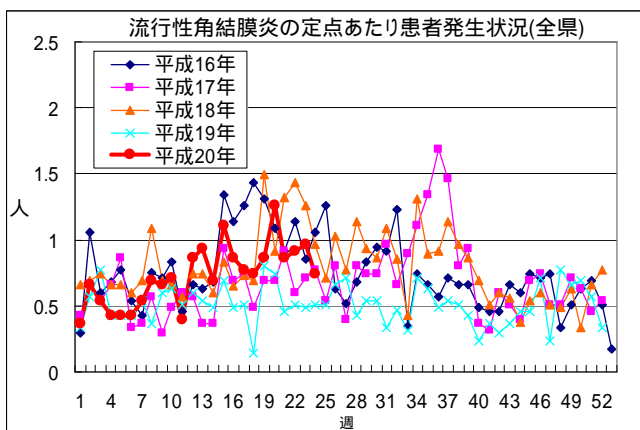
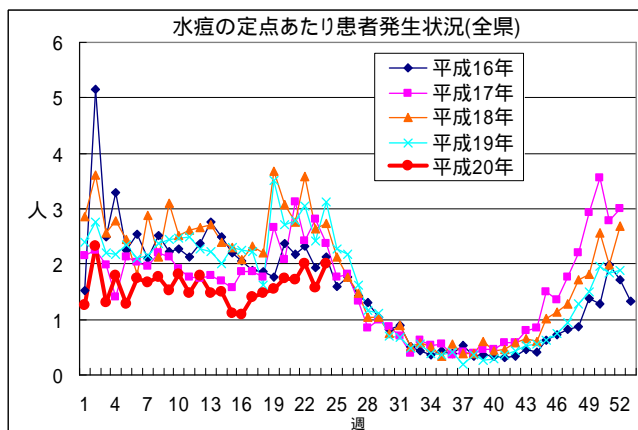
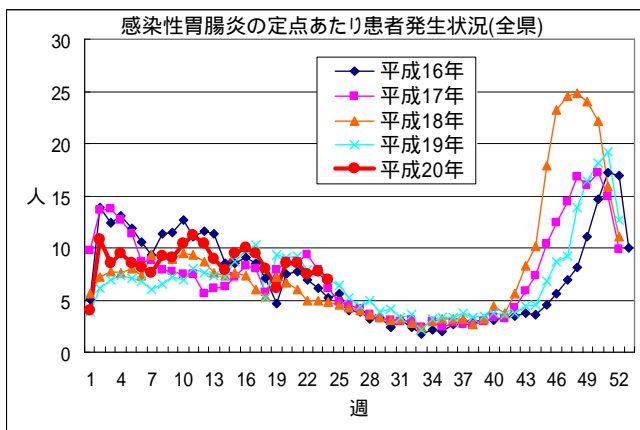
**麻しん** 先週、社保健所管内の高等学校で麻しんを発症した生徒があり、臨時休校となりました。第24週現在、兵庫県における麻しんの累積患者数は91名となっており、うち約半数が10歳から19歳の年齢群からの報告となっています。地域別には神戸市をはじめとする阪神間からの報告が多くなっています。麻しんは例年春季から夏季に発生報告数が増加する感染症で、接触感染、飛沫感染、空気感染などの経路で感染します。有効な予防方法はワクチンの接種であり、第1期（1歳時）、第2期（小学校就学前の1年間の者）の2回接種が各市町村にて行われています。また、2008年4月1日より5年間の期限付き措置として、第3期（中学校1年生相当年齢）、第4期（高校3年生相当年齢）の定期予防接種が始まっています。感染予防のために、麻しん未罹患、ワクチン未接種、1回のみ接種の人は、ワクチンの接種が勧められます。



1～24週の累積患者数による



## 目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。